

令和7年度 自治会長等会議 次第

日時：令和7年5月16日（金）午後7時～8時45分

場所：市役所 会議棟第6・7・8会議室

- 1 市長挨拶
- 2 事務局紹介及び連絡事項（地域サポーター、昨年度の取組について）
- 3 議題
 - （1）令和7年度自治会補助金の交付申請及び令和6年度実績報告について（資料1）
 - （2）市民センター等の利用に係る事前予約（資料2）
 - （3）自治会に対する補助制度及び活動支援の紹介（資料3）
- 4 議題に関する質疑応答
- 5 グループワーク（議題：自治会における防災活動について）
- 6 グループごとに議論した内容を発表

令和7年度自治会長等会議（要旨）

開催日時 令和7年5月16日 金曜日 午後7時～8時45分

開催場所 会議棟第6・7・8会議室

市出席者 市長、市民生活課長、市民生活課

事務局 市民生活課長、市民協働・消費係2名

○市長挨拶

○事務局紹介及び連絡事項

事務局が自己紹介した。

市長より地域サポーターについて紹介し、説明をした。

市民生活課長より昨年度の自治会活動支援の取組について紹介した。

○議題

事務局より次第に沿って説明を行った。

1 令和7年度自治会補助金の交付申請及び令和6年度実績報告について
（資料1）

2 市民センター等の利用に係る事前予約（資料2）

3 自治会に対する補助制度及び活動支援の紹介（資料3）

①「まちの応援プロボノチーム まちの情報発信講座」(資料4)

自治会の課題解決を目的に、民間企業での実務経験者をボランティアとして派遣する東京都の事業

事業説明会：6/19（木）、6/28（土）、7/4（金）※オンライン有

②「町会・マンション みんなで防災訓練」(資料5)

地域の防災力の向上を目的に、自治会とマンション管理組合が合同で実施する防災訓練に対し支援を行う東京都の事業

③「地域の底力発展事業助成」(資料6)

「講師おまかせスマホ教室」(資料7)

東京都が実施する、自治会の地域活動に対する東京都の事業

④ 町会・自治会防災備蓄倉庫設置等助成事業(資料8)

町会・自治会が地域において行う備蓄の環境整備を広域で後押しし、災害時に共助の力が発揮できるよう支援していくことを目的に町会・自治会防災備蓄倉庫設置等助成を実施する東京都の事業

⑤「コミュニティ助成事業」

一般財団法人 自治総合センターが宝くじの収益金を活用して実施する、自治会の活動備品の整備事業

○議題に関する質疑応答

自治会長：毎年、1世帯につき160円の活動に対する補助が少ないという話が出ている。もう少し補助をしていただきたい。

市民生活課長：難しいところではありますが、検討させていただきます。

自治会長：1世帯につき160円の活動に対する補助の件について、市政をかえるのなら、前年度引き継いだ予算を変えていったほうがいいのではないか。

市長：限られた財源の中で、予算のより効果的な活用について総合的に考えさせていただきます。

自治会長：1世帯につき160円の活動に対する補助の金額について、昨年の自治会長等会議の時と同じ回答であった。来年の自治会長等会議では、どうですか見てくださいというような回答が欲しいです。

自治会長：1世帯につき160円の活動に対する補助について、少ない高いの議論ではない。自治会活動で具体的に何を行ったのかを明確にして、その金額に対してどうなのかを考えていくべき。少ない高いの議論ではない。

自治会長：ごみの集積所が乱れてきている。ごみの分別の説明会を平日だと人が集まらないので日曜日に説明会を開催してほしい。

市民生活課長：担当課と調整して回答いたします。

○グループワーク（議題：自治会における防災活動について）

グループごとに議論した内容について

- ・自治会内で防災訓練を実施しており、マンホールトイレやテントの組立、水道がつまった時を想定して、池からポンプをひいてみる作業を実際に行った。

- ・市からマイクロバスを借りて、自治会で立川防災館へ行っている。

- ・地域の小学校で炊き出しを行っている。高齢者が多く、なかなか防災訓練ができないのが課題である。

- ・積極的な防災活動ができている。自治会内で各世帯の年齢等を確認している。

- ・防災対策は行っているが、防災機材を収納する防災備蓄倉庫がない状況である。

東京都の補助をうまく活用したい。

- ・マンション内で年に1～2回AED、救命訓練訓練を行っている。

- ・防災訓練は役員とその他数人だけなので参加者が少ないことが大きな課題である。

- 身のある訓練を、みんなで考えていかなければならない。
- 防災について、自治会員があまり認識がないところもある。どのようにしたら関心を持ってもらい、防災活動に参加してもらえるかが今後の課題である。
 - 南街地区の住宅が密集しているエリアでは火災が一番恐ろしい。声かけ運動や近隣とのコミュニケーションが最大の防災活動である。
 - 市へのお願いとして、予算的なこともあるだろうが避難場所のトイレの数や備蓄倉庫の内容等の必要な物を必要な分だけ確保してもらいたい。